

令和8年1月16日

保護者の皆さま

阿南市立中野島小学校長 立田 誉之



## 令和7年度 学校評価について（お知らせ）

早春の候、保護者の皆さまにおかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。  
日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和7年11月下旬に「令和7年度 学校評価アンケート」を実施いたしましたところ、ご多用にもかかわらずご協力いただき感謝申し上げます。

また、同じ時期に、児童に対しましても保護者の皆さまのアンケートと同様に「中野島小学校をよくするためのアンケート」を実施いたしました。

この度、アンケート集計結果をお届けします。結果をもとに、教職員で考察と協議を行い、教育活動の改善や及びお子さんの成長支援につなげてまいりたいと考えています。

今後も中野島小学校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ 学校ホームページには、児童・保護者の詳細データを掲載してしていますので  
ご覧ください。

## 【結果と考察】児童（上・下学年の平均値）＆保護者アンケートを総合的に判断

A：そう思う、 B：どちらかといえばそう思う、 C：どちらかといえばそう思わない、 D：そう思わない

### ◎肯定的評価(A・B)が85%以上の項目

#### ◇（生活の様子）

- 「友達と仲良く生活を送っている」
- 「楽しい学校生活を送っている」
- 「学校や阿南市のことが好きで誇りに思う」

#### ◇（学習活動の様子）

- 「校外学習やゲストティーチャーとの学習が楽しい」

#### ◇（命を大切にできる力：人権・防犯・防災等）

- 「学校はお子さんの学習や生活態度について指導に努めている」
- 「先生はわたしたちの話をよく聞いてくれる」
- 「先生はいじめのない学校にしようとしている」
- 「学校は子どもの人権を大切に、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」
- 「交通安全や不審者等が出た時の対応を知っている」

#### ◇（学校と家庭の連携、情報共有）

- 「ご家庭への連絡や情報提供は適切である」
- 「参観日やPTA行事は適切である」

※昨年度比で、児童の平均が90%を超えていても保護者が80%に到達していないものが4項目、その逆が3項目見られ、ともに85%を超えた項目が減る結果となりました。児童支援の進め方、家庭への発信や啓発方法を含めて、改善に向けて教職員で協議してまいります。

### 【課題改善に向けて】

#### ◎よい生活習慣の定着

よい生活習慣の定着に向けて本年度も取り組みました。「元気な挨拶や正しい言葉遣い」、「学校のきまりを守る」、「早寝・早起き・朝ごはん」等で、下学年は90%を超えていますが、上学年では70%台と課題が見られています。「挨拶や言葉遣い」は他者との豊かなコミュニケーションをとるために必要なスキルです。今後は、「⑧明るく⑨いつも⑩さきに⑪続ける」のようなキャッチフレーズを活用して習慣化させ、自然とスキルが身につくようにしたいと考えます。言葉遣いについては、国語科での美しい日本語の学習や人権学習でのアサーションスキル（非攻撃的な自己主張）の習得をめざします。また、「きまりを守る」は校外での遊び方、自転車、帰宅時間等で交通安全や防犯対策と関連がありますので、「命を守る」という視点で周知徹底してまいります。「早寝・早起き・朝ごはん」については、副読本「わたしたちの健康」の有効な活用、家庭との連携では「保健だより」を活用して意識を高めていきたいと考えます。今後も子どもたちがよい生活習慣を身につけ、自立する姿をめざして継続指導していきます。

#### ◎読書の推進

学校では、朝の読書や午後の「読書タイム」の継続とともに、図書館サポーターとの連携を工夫した読み聞かせの推進など、本に出会い、親しみ、読書が好きになっていく機会を増やしています。しかし、「家庭での読書習慣」については、二極化の傾向が見られ、進んで読む児童とそうでない児童に分かれているようです。家庭での読書の時間を増やすことを目指し、市では毎月第2土曜日を家庭読書の日として啓発しています。本校でも第2金曜日に本を借りて帰る習慣づけを行い、家庭読書の時間を増やしたいと考えます。

#### ◎自分の思いや考えを伝え合う

「自分の思いや考えを伝え合う力」の向上をめざすにあたって、ベースとなるのは、毎日元気よく自分から進んでする挨拶だと考えます。自分から発声してコミュニケーションをとろうとする意識や習慣が定着することで、思いを表現する意欲や対話スキルの向上につながります。授業では、ペアやグループ等小集団単位で発言する機会を増やしていくことで、互いに思いを伝え合う楽しさを知り、他者に考えを伝える力の向上を目指していきます。

### ▲肯定的評価(A・B)が70%以下の項目（課題）

#### 「家庭で読書をしている」

※昨年度比で、「本を読むことが好きでよく読んでいる」のAB評価が下学年では9%減少し77%、高学年では5%減少し51%。平均で64%。保護者評価は49%でした。

#### 「自分の思ったことや考えを発表している」

※昨年度比で、AB評価が下学年では昨年同様80%、高学年では16%減少し49%、平均65%。保護者評価は4%増加し64%であり、自分の思いや考えを進んで伝えようとするのが苦手な児童が上学年に多い傾向が見られます。

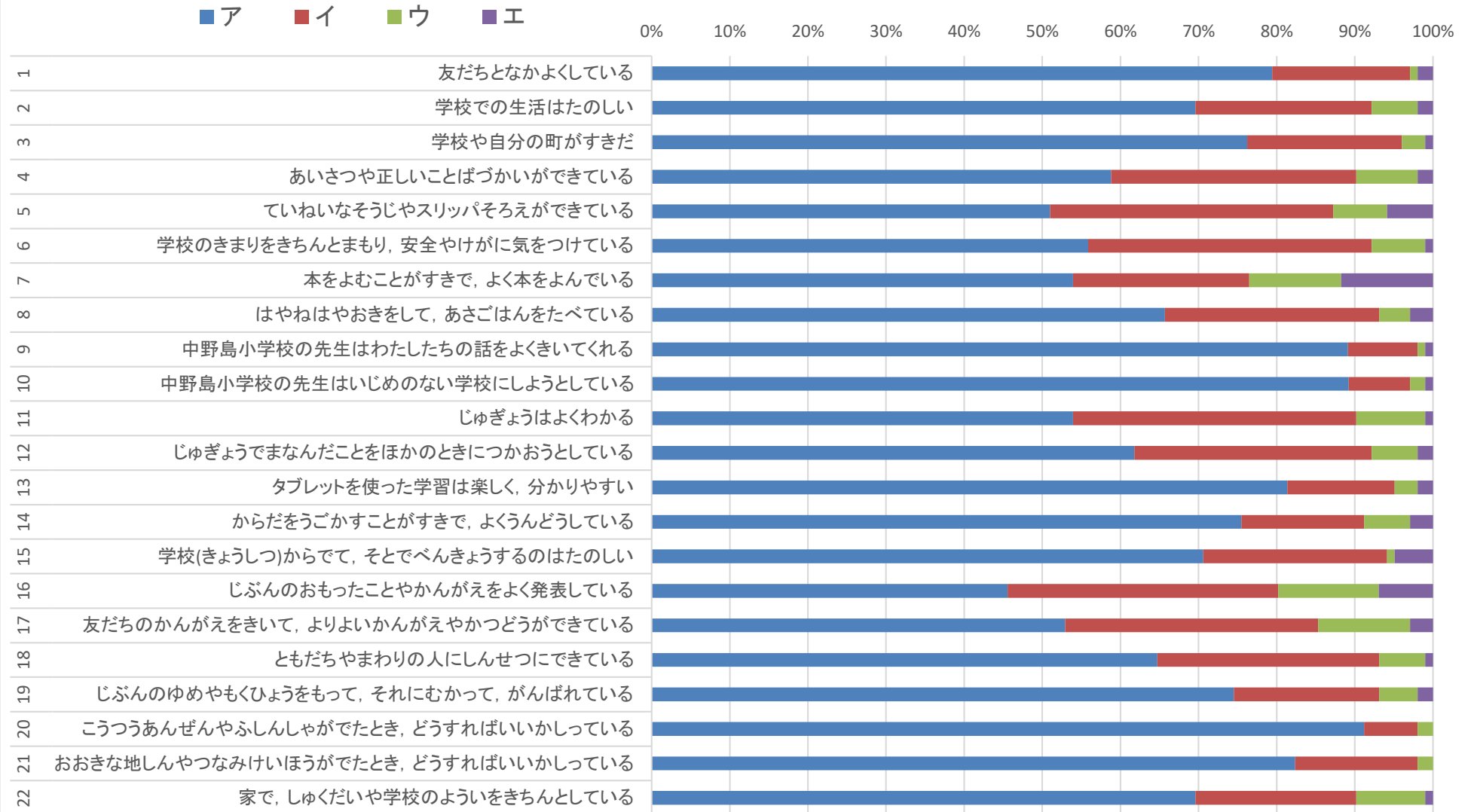
#### （アンケートの記述について）

お忙しい中、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。お考えやお気持ちを教職員で読ませていただき、思いを共有しました。

学校行事や子どもとの関わり等について、いただいたご意見は、教職員で十分に話し合い、子どもたちの成長のために、よりよい支援を進められるよう、努めていきたいと考えています。今後とも、本校へのご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

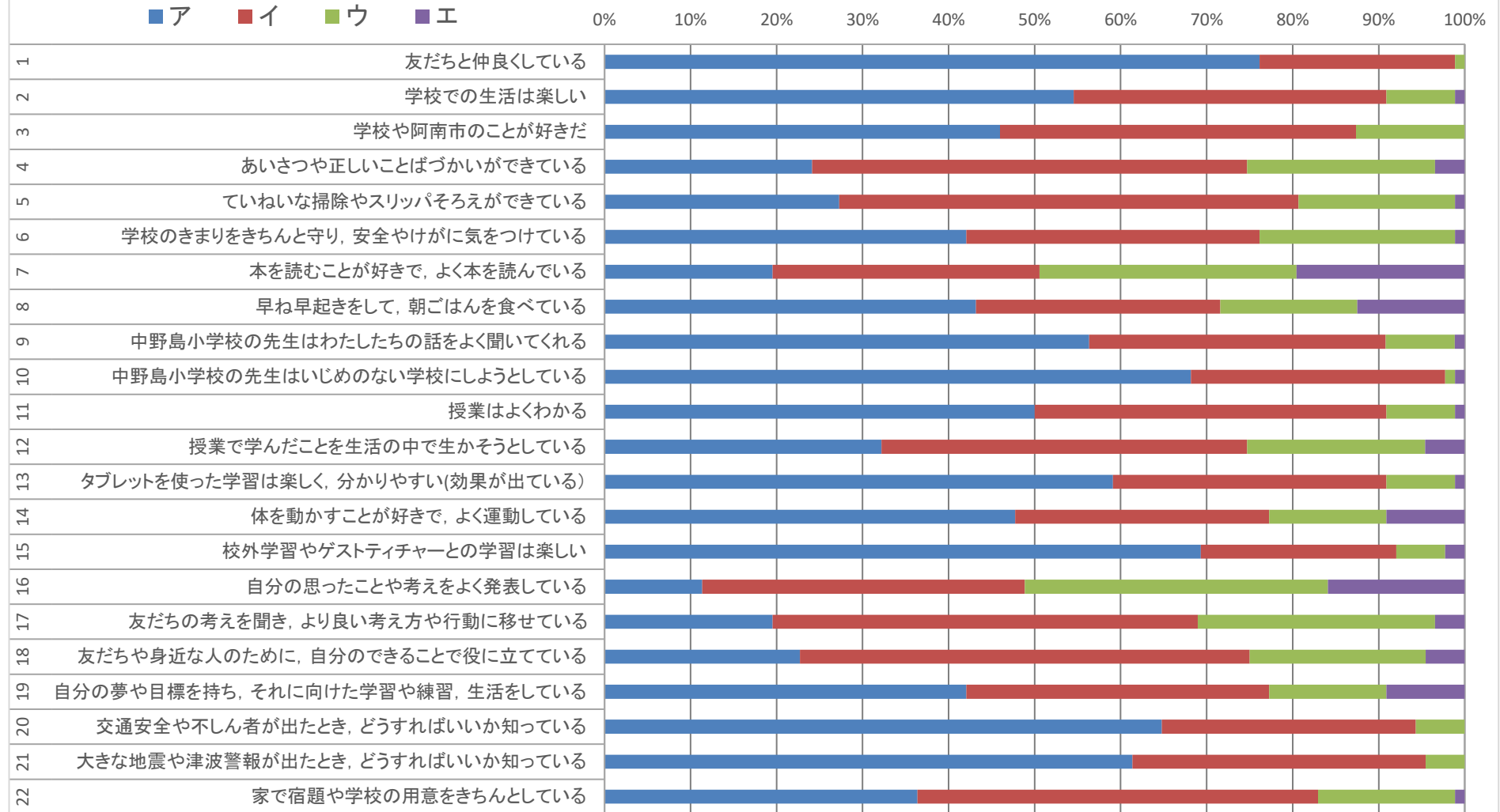
# 令和7年度 下学年児童アンケート結果

ア:思う イ:どちらかといえば思う ウ:どちらかといえば思わない エ:思わない



## 令和7年度 上学年児童アンケート結果

ア: そう思う イ: どちらかといえばそう思う ウ: どちらかといえば思わない エ: 思わない



## 令和7年度 保護者アンケート結果 全体

A: と思う B: どちらかといえばと思う C: どちらかといえば思わない D: 思わない

